

Caduceus Information

カデューシャス 通信 Vol.9



photo 医師 浜内 祝嗣



シンボルマークについて

当病院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器に置き換え、へびの顔は世界を知る意味で外に向けています。翼の下にある ♪・♫ は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

● 看護職の働きやすい職場

【看護師は病院の宝】

看護部長 飯田 晃子

● CT(コンピューター断層撮影)

装置が新しくなりました

放射線科技長 大矢 高信

● 特定保健健診・保健指導について

栄養管理課主任 佐々木 景子

● 医療相談室ご案内

医療ソーシャルワーカー 湯山 晶子

● 病病・病診連携会

地域医療連携室長・副院長 今村 博幸

～看護職の働きやすい職場～ 【看護師は病院の宝】

看護部長 飯田晃子

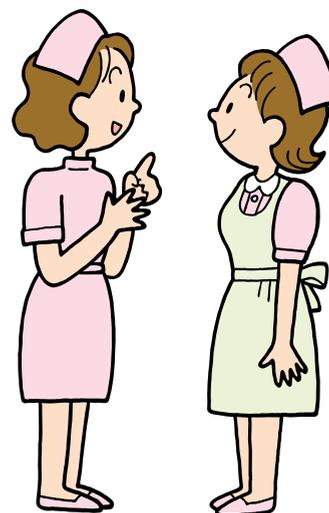


病院の看護職確保や定着は、経営目標でもあり、看護部の目標としても掲げて取り組んでおります。しかし、看護師募集は厳しい状況が続いています。そんな中で常に意識していることは「よい人材採用にまさる人材なし・育成なし」の言葉。人のよし悪しが、組織のよし悪しばかりか、看護のよし悪しにも直結すると考えているからです。そのためには「よき人」を採用し共に育み、より良い信頼関係のある職場環境の中で責任ある仕事をしていくこと、そして努力した結果や個人の頑張りを公平に評価し手応えある報酬として本人にフィードバックさせることが重要であると考えています。私の考える「よき人」とは、育成が可能で、磨き甲斐があり、温かい人間性を持ったよき社会人と考えています。数合わせにならないよう意識した採用を心がけています。

新人看護師ではない既卒採用者は、技術的なことに関しては職場が変わっても日数を重ねて経験する事で問題なく業務に就くことができ、取り立てて心配する必要はないと思っています。従って、自立した役割を担えるようになるまでの期間もそう長くはなく、独り立ち出来るまでの期間は通常3ヶ月と見ています。何よりも管理者として、一番の関心事は、採用者が1日も早く職場や他のスタッフに慣れることであると考えています。採用者が定着するかどうかは、思いを共有できる先輩看護師たちの温かく、忍耐強い指導と、チームメイトであるという信頼感でつながった良好な仲間意識、そして、常に管理者が見守るという配慮と温かな支援が得られるかどうかだと考えています。

チーム医療が叫ばれる今日では、看護においても総合力が決めて手となると思います。そのために、一人ひとりの仕事の方向性と組織の進むべき方向性が一致していること。少なくとも組織の理念、方針を共有していることは、総合力を高めるために最低限必要だと考えます。

また、看護師個々に合わせた働き方として、看護協会でもワークライフバランスを推奨していますが、当看護部もその時どきのライフイベントに合わせて、「誰もが働き続けられる職場」をめざし、勤務条件や、職場環境の整備に力を入れています。結婚・妊娠・出産・子育てなどしながら仕事が継続できるように考えています。看護職の皆さんが、『働きやすい職場』だと思えるよう、看護師の定着と雇用促進のために看護体制・労働条件・待遇の問題・保育所の確保等が必要と考えています。

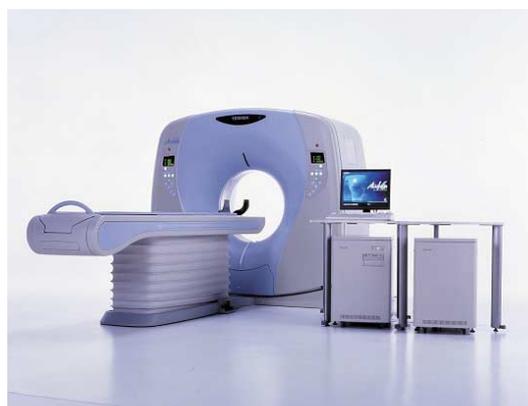


CT（コンピューター断層撮影） 装置が新しくなりました

放射線科技師長 大矢 高信



この度、当院使用のコンピューター断層撮影装置“CT”が更新されましたので、その特徴などを簡単にご紹介いたします。



CTの特徴として、MRIよりも脳出血、骨、石灰化の描出にすぐれ、またヨード造影剤の使用で血管像の撮影も可能です。当院では、救急外来、頭部外傷、脊椎疾患、小児、頭頸部血管撮影、ペースメーカー装着者等に幅広く使われています。

新しいCTの特徴

I シングルスライスからマルチスライスへ

これまでのCTは、X線管球が一回転で1枚の断層像を撮影していたのに対し、最大で16枚の画像を得ることが可能となり、**検査時間が短縮**されました。

II 最薄0.5mmスライス検出器

断層像の厚みが最薄で0.5mmとこれまでより格段に薄い画像の撮影が可能となり、より**小さな病変の診断が可能**となりました。

III 被ばく線量の低減

CT撮影ではX線による被ばくが心配されますが、体の厚み、密度など自動で計算し必要最低限の線量での撮影が可能となり、従来比で最大40%の**被ばく低減**ができるようになりました。

そのほかにも、様々な画像処理ソフトウェアの進化、カラー3D表示、患者さまにやさしいデザインなど盛りだくさんです。



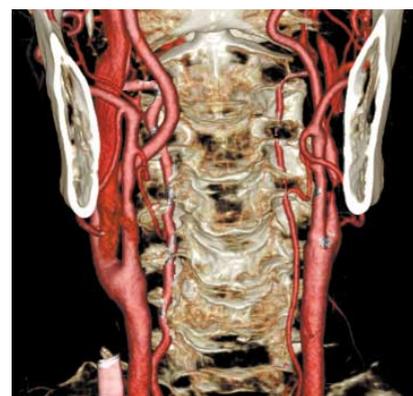
<床上31cm>



脳血管撮影



腰椎の3D表示



頸部血管撮影

当院ではこの新しい“マルチスライスCT”の性能を最大限に引き出し、患者さまに安全かつ質の高い医療を提供できるよう努めていきます。

特定保健健診・保健指導について

栄養管理課主任 佐々木景子



日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病など）の有病者・予備群が増加しており、それを原因とする死亡は、全体の約3分の1にもものぼると推計されています。

このような生活習慣病の合併症の一つに動脈硬化があります。

動脈硬化とは、「血管が老化現象を起こして硬くなる症状」の事をいいます。動脈硬化そのものは、特段の自覚症状があるわけではないですし、程度が軽い場合には、臓器の機能になんら支障を生じるわけではありません。しかし動脈硬化が進むことによって、血管（動脈）の弾力性が失われたり、血管が傷ついて破れたり、あるいは血栓ができて血の流れが悪くなったりします。その結果、血が流れ着く先の臓器が影響を受け、機能低下を招くことになります。

脳卒中や大動脈瘤、腎不全や心筋梗塞などの様々な重篤な病気を引き起こす可能性が高くなります。日本人の死亡原因の6割を占めるとされる「三大死因」はがん・心臓病・脳卒中（脳血管疾患）となっていますが、このうち心臓病と脳卒中については、動脈硬化がまさしくその引き金をひいているわけです。

これらの病気の発症は、生活の質を大きく下げる深刻な後遺症を引き起こし、最悪の場合は生命の危険にすら陥ります。動脈硬化は日頃の生活習慣を見直し、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けることで十分に予防が可能です。ぜひとも生活習慣病予防のために特定保健健診・保健指導を積極的に利用して下さい。

特定保健健診・保健指導のお申込・お問い合わせ：
当院1階受付窓口 電話011-717-2131

医療相談室のご案内

医療ソーシャルワーカー 湯山 晶子



病気になると病気の事だけではなく、様々な心配事ができます。

想定外の医療費の支払いで生活費の予算がたたない、お世話をしていた家族をどこにお願いしたらよいのか、職場や給料はどうなるのか、それから今後はどうなるのか...

一度に沢山の事が押し寄せてくるように感じてしまいます。

いったいどれから手をつけたらよいのか？どこに相談したらよいのか？病院なのか？病気とは直接関係のないプライベートなことかもしれない...

病院に相談してよいのか？病院のことを介護保健のサービス調整をしてくれるケアマネージャーに相談してよいのか？ネットで調べてみたけれど、どれに該当するのかわからない...

そんな時にお話を伺い、一緒に問題を整理し、利用できる制度は何かがあるのか、具体的にどのようにすればよいのかをお伝えし、解決のお手伝いをするのが医療相談室です。

様々な「相談室」がありますが、当院の医療相談室では、他の医療機関、施設、担当されているケアマネージャー、区の相談窓口、保護課、法テラス（日本司法支援センター）等とご本人、ご家族の了解を得て連絡をとりあい、当院の医療情報を含めて、それぞれの専門分野でどのようにお手伝いするのかを話し合います。

「どこに相談したらよいか、わからない」そんな時にはどうぞ、お気軽に2階の医療相談室にお声をかけて下さい。お電話でもお受けしています。

病病・病診連携会

地域医療連携室長・副院長 今村博幸



大槻美佳先生

平成22年9月30日、札幌京王プラザホテルにおいて開催いたしました。今回が第5回となり、近隣の医師41名を含む50数名のご参加がありました。最新の臨床成績や研究成果をお知らせするために、一般講演として銚谷武雄医長より「脳卒中の予防と治療」、特別講演として当院の非常勤医師であります北海道医療大学准教授・大槻美佳先生より「認知症と高次脳機能障害」の二演題を発表させていただきました。講演会の後、カレスサップ口北光記念クリニック・佐久間一郎所長による乾杯のご発声で情報交換会が行われ、なごやかな雰囲気の中に会を終えることが出来ました。今後も日常診療の向上を目指し、近隣の医療機関との連携を円滑にし、地域の皆様に安心と満足を提供してゆきたいと考えております。

スタッフ紹介

◆外来◆

看護師 辻 ひとみ



私は、外来及び夜間救急を担当しています。突然、くも膜下出血を発症され不安や緊張を抱えていたにも関わらず、手術を受けられ元気な姿で、「あの時は、ありがとう。看護師さんの事を一生忘れないよ。」と患者様に声を掛けられた時は、涙もろい私も、込み上げてくるものを抑えながら、看護師を続けてきて良かったと思える時を過ごすことがあります。

これからも、患者様、ご家族様にとって、「当院で治療を受けて良かった」と思われる看護を提供できる様に日々努力していきたいと思っております。

◆医事課◆

渡邊 加夏



医事課の役割は、患者様の負担金の請求や保険者へ診療費の請求をすることです。

そして、来院された方と最初にお会いする場所でもあります。不安をかかえて来院された方に、少しでもリラックスして頂けますように笑顔の対応を心がけています。

患者様に安心して治療を受けていただけるよう、また、ご家族が安心して治療を見守って頂けるように、医療費などの相談も受けております。

ご不明な事やお困りの事がございましたら、いつでもお声をかけて下さい。

◆手術室◆

看護師 栢田 佳枝



手術という現場では、何より患者様の安全が第一に求められています。麻酔により、意識のない患者様の苦痛を感じ取り、手術中も安全で安楽に過ごしていただけるために十分な観察や迅速な対応が必要となります。

医師、麻酔医、病棟、他部門との連携を密にとり、手術チームの一員として日々努力しております。患者様のご希望に添えるよう、お気持ちを大切にしたいと考えておりますので、安心しておまかせ下さい。

◆リハビリテーション科◆

理学療法士 田中 さち



麻痺や筋力低下など様々な理由で上手く体を動かせなくなってしまった患者様に対し、主に基本動作のリハビリを行っています。一日でも早く患者様が回復できるよう、症状にあわせた適切なリハビリの提供を目指し、日々努力しています。

理学療法室では唯一の女性スタッフなので、より細かい心配りができるような頑張りますのでお気軽にお声を掛けて下さい。

◆3階病棟◆

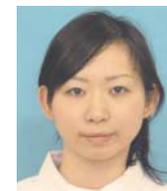
看護師 小中 早苗



3階病棟には、緊急入院してくる患者様が多くいらっしゃいます。入院の際には、患者様への適切な対応はもちろんですが、ご家族へも少しでも不安を取り除けるよう対応したいと心がけています。入院中も、何かありましたら気軽に看護師へ声をかけて下さい。

◆栄養管理課◆

管理栄養士 船越 雅沙代



一日一日が早く、勤めてからあっという間に二年が経ちました。毎日、ベットサイド訪問をしていると、患者様にとって「食事がとても楽しみ」ということを強く感じています。その様な患者様の声に少しでも沿えるよう当院では嗜好調査で「病院食で食べたい料理」の上位に挙がること多い刺身等を盛り込んだ『行事食』を提供したり、旬の食材を使用して季節の移り変わりを感じて頂ける工夫を行っています。

また体調が良くなり食事が食べられない時は食事内容の検討や変更を行っています。「様々な制限のある病院食でも、美味しく食べて頂くにはどのような工夫ができるだろうか?」と日々模索しております。患者様にとって最良の食事を見つけ出すためにも今後も頑張っておりたいと思っております。

外来診療体制

診療担当医表

	月 MON			火 TUE			水 WED			木 THU			金 FRI			土 SAT						
	1診	2診	3診	1診	2診	3診	1診	2診	3診	1診	2診	3診	1診	2診	3診	1診	2診	3診	1診	2診		
午前	会田	青樹	緒方	会田	今村	鑑谷	今村	緒方	鑑谷	会田	本宮	※野村	会田	青樹	緒方	今村	鑑谷	※小柳	青樹	加藤	会田	吉野
午後	鑑谷	青樹		加藤	今村		鑑谷	緒方	※大槻	会田	吉野	※野村 (第3週のみ)	加藤	今村		第1・3週		第2・4週			第5週	

■ 神経内科 ■ 循環器内科

※印の診療を希望される場合は、事前にご相談下さい

診療受付 8:40~

診療予約

電話での予約受付時間
9:00~17:00

外来診療の予約が可能です。
詳しくは『電話9:00~17:00』または『受付窓口』にてお問い合わせください。

診療時間 平日 / 9:00~17:00
土曜日 / 9:00~12:30
日・祝日 / 休診 (但し急患随時受付)

※予約申込は原則、受診希望日の前日までをお願いいたします。
※予約をされていない場合でも、従来通り診察させていただきます。

歯科

診療時間

月・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
水	10:00~13:30	15:00~18:00*
土	10:00~14:00	

*水曜日の午後は他院往診のため、休診となる場合があります。
お電話でご確認の上、ご来院下さい。

休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

歯科直通

TEL&FAX: (011) 717-1648

理念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

Caduceus Information

北海道脳神経外科記念病院は、
北海道大学キャンパスを背にし、
中央区の中でも、緑多く心安らぐ
環境に位置しております。



交通の便

- 地下鉄北24条駅 / 中央バス(北72線)南新川下車
- JR札幌駅 / 中央バス(西51線)北22条西15丁目下車
- 地下鉄二十四軒駅 / JRバス(軒32線)南新川下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒060-0022 札幌市中央区北22条西15丁目 TEL.011-717-2131

<http://www.hnsmhp.or.jp/>